

様

常磐野9条の会

連絡先

山川忠一 881-8593 乾 町

川口久彬 872-4133 蜂岡町

ひろげよう平和の輪

5月28日現在 会員1187人

6月号 No200号 2022, 6, 1

tokiwa9@jcom.zaq.ne.jp



国連憲章 (一部) すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない。

ロシアはウクライナ侵略を止めよ 直ちに停戦を！

六月 (水無月・みなづき)

- 1日 (水) 衣替え
- 5日 (日) 芒種
- 9日 (木) 山越定例宣伝11:00~
- 11日 (土) 入梅
- 19日 (日) 憲法守れの日 (市役所前)
父の日
- 20日 (月) 事務局会議
- 21日 (火) 夏至
- 22日 (水) 参議院選挙公示
- 23日 (木) 沖縄【慰霊の日】

**6月22日は
参議院選挙の公示日です**

**平和を願う一票を
憲法9条を生かす候補者・政党に
お寄せください。**



常磐野9条の会

愚直に9条を守る

青木ヶ原町 松浦 敏郎

ウクライナの状況を世界中の人が憂い、停戦、ロシア軍の即時撤退を切に願っています。

ウクライナに平和を！という思いはみんなの一致するところでしょう。そして、この状況をどのように捉え、どうすればいいのか、心を痛めながら考えていることでしょう。

私たちは、今こそ憲法9条の精神を生かし、平和の外交に力を入れるべきだと考えます。問題が起これば、武力に頼らず話し合いで解決することが大切だと。ところが、そう考えない人たちがいる。

「9条で国が守れるのか」「攻めてこられたらどうするか」と。

中国の脅威を声高に叫び、9条を変え、防衛力を増強し、そのために防衛予算を2倍にする115兆円を増やす。

これだけの予算があればどれだけのことができるだろうか。医療、教育、福祉がどれだけ向上することか。

敵基地攻撃能力（先制攻撃！）を持つべきだとか、果ては「核共有」まで言い出す。なんとということか、と思います。

この機に乗じて言いたい放題。まるでロシアの侵略行為を待ってました！と言わんばかりではないか。このような言動が強まっていることは残念ながら事実だろうとは思いますが、しかし、ここでよく考えないと。

こんなこと言う人はほんの一部で、実は「そう思わされている人が多い」ということなんじゃないか。マスコミ報道には注意しないと。特に世論調査というやつは、結果から何を読み取るか、質問の文章はどんな表現だったか、十分に心すべきです。9条を変えないと国は守れない、という人には、では9条を変えれば守れるんですか、と逆に聞きたい。相手の基地や中枢（日本で言えば首相官邸か）を攻撃すればどんな事態を引き起こすか考えたことがありますか、と。

私たちは何と言われようと愚直に9条を守る、平和外交に徹する、話し合いで解決する、それが長い人類の歴史の到達点だ、と冷静に、力強く言い続けましょう。



北陸新幹線延伸について考える

(シリーズ②)

(京ちゃん) 守君、「北陸新幹線延伸計画」で、京都の地下40mのところを掘る話をしたよね。

(守君) シールド工法と言って直径10mのトンネルを掘る。

(京ちゃん) 大変なトンネル工事なんだね。

(守君) 小浜から新大阪までの140kmの長さを掘る大工事で、15年以上

かかるだろうと言われていて。掘り出す土は、880万m³〜1700万m³で、愛宕山ができるくらいの残土だと言われているらしい。

(京ちゃん) そんなに大量の残土をどこに運ぶの？

(守君) まだ、決まっていないようだけれども美山町等、南丹市で出た残土

は南丹市で処理することになっている。

(京ちゃん) 南丹市の山などに残土が捨てられるの？

(守君) そうなる可能性が高い。南丹市の美山や京北などは広大な丹波国定

公園にあり、自然の豊かなところだ。かやぶきの里や芦生原生林等、世界的にも貴重な自然や観光名所があるところなんだ。

(京ちゃん) そんな自然の美しいところにトンネルを掘るの？

(守君) だから、地元の人達はとても心配しておられるね。田歌地区では、環境アセスメントを見合わせることを決めている。

(京ちゃん) 大切な自然が破壊されるかもしれないのね。

(守君) そうなんだ。それから残土にはヒ素やマンガン等の有毒物質が含まれている恐れもあるらしい。(つづく)



楽しむ絵本 紹介

せかいでいちばんつよい国

自分たちの暮らしほどうすてきなものはないと信じている大きな国の人々は、世界中の人々を幸せにするために、いろいろな国へ戦争をしに行き、征服していきます。ところが、最後に残った小さな国に戦争に行くと、その国には兵隊がいませんでした。小さな国の人々は、大きな国の兵隊たちを歓迎し、料理をふるまい、遊びや歌を教え、もてなしました。小さな国でしばらく過ごした大きな国の大統領が国に帰り、息子にこわれるままに歌を歌うと、それはどれも小さな国の歌でした。

デビッドマッキー作・なかがわらひろ訳



戦争体験②

乳飲み子に玄米

岡田 落穂（広沢）

1944（昭和19）年太平洋戦争末期に生まれた弟は、64歳でいわゆる成人病で亡くなりました。

しかし、「あの子が亡くなったのは、乳飲み子の頃の栄養失調が土台にあるんだヨ」と、亡くなった母はいつも言っていました。

母の友人2人も弟と同年代の息子を亡くしており、3人寄ると「不憫だよね」と嘆きあい、息子たちが亡くなったのは『乳児の頃の栄養不足のせいだ』という思いが、ますます強くなっていくようでした。

名古屋大空襲

私たち家族は、弟が生まれた翌1945（昭和20）年の名古屋大空襲で焼け出されました。

弟を負い、私の手を引いて避難、道

端の水を張った防空壕に逃げ込んだり、

焼け残った知人の家で泊まらせてもらったりしながら、叔母の婚家先を頼り、瀬戸市の山深い陶器小屋まで歩き通しました。「どうしてあんな距離を歩けたかわ

からんワ」「防空壕の中でも、B29が編隊組んで来るとあんた達の上に覆いかぶさったのヨ」と母は言っていました。当時3歳の私が覚えているのは防空壕の水が冷たかったことと、田んぼの向こう

の市街地が燃えている赤い色だけでした。母乳は出ず、食料もなし避難中も疎開後も、当時主な食料は玄米だけ。母は母乳が出なくなり、乳飲み子の弟に玄米ご

飯を噛み砕いて与えるしかなく、弟はひどい下痢と衰弱で村の医者「助からない」と言われましたが、直後に終（敗）

戦。母は私と弟を連れて京都の母の実家へ転がり込み、第二日赤病院で母の血を輸血し、幼い命を救うことが出来ました。

戦争につなが

る動き許さない幼児期の戦争体験からい

ま私は、世界や日本を戦争に巻き込むどんな小さな動きも、とりわ

け差し迫っている憲法9条改悪や軍拡による紛争解決の動きを食い止めるため、多くの方々と力を合わせたいと思っております。

「どのいのちも、自分の家族のいのちと思つてほしい。平和を願います。」子育て真っ最中のSさんが、ウクライナ戦争についてのコメントを寄せてくださいました。

みなさまからの「ひとこと」をお寄せください。

事務局

